

# 和歌山縣報

第千二十二號

明治四十三年十一月三日

○縣令

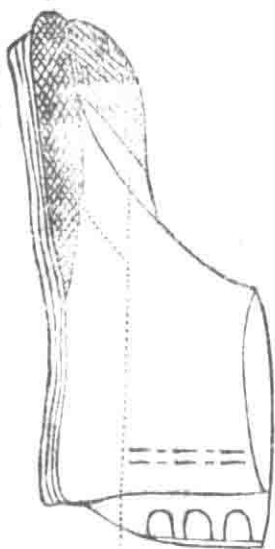
○和歌山縣令第四十五號

明治三十一年<sup>六月</sup>和歌山縣令第三十六號消防組規則施行細則第二號附錄消防組員被服樣式中足袋ヲ左ノ通改正ス但シ本令施行前ニ給與シタル足袋ハ保存期限内之ヲ使用セシムルコトヲ得

明治四十三年十一月三日

和歌山縣知事 川上 親 晴

足袋



子重枚三齋雲裏

甲馳付 雲齋地紐刺子

○ 告 示

○和歌山縣告示第四百六號

左記ノ通り定置漁業ヲ免許シ免許漁業原簿ニ登録ス

明治四十三年十一月三日

和歌山縣知事 川上親晴

東牟婁郡大島村大字樫野

代表者 樫野漁業組合

免許年月日 明治四十三年十一月一日

免許番號 八九八

漁業ノ種類及名稱 臺網類 八角網

漁場ノ位置 基点 東牟婁郡大島村大字樫野モノミノ鼻ヨリ沖出三十八度百九十間、兩端四十

八度百九十間及一十八度百四十五間、垣網四十一度百六十五間ノ点(戊)ヨリ辨天島西ノ鼻ニ至

ル六十間

漁獲物種類 目近、ムロ、鮪、鯉、鱈

漁業時期 五月一日ヨリ十一月三十日迄

免許期間 十ケ年

條件

一敷設ノ爲両爪ノ錨ヲ使用スヘカラス又砂礫以外ノ土俵、錨若クハ支柱ヲ用フルトキハ揚網後

三十日以内ニ之ヲ撤去スヘシ

東牟婁郡古座町

代表者

古座漁業組合

免許年月日 明治四十三年十一月一日

免許番號 八九九

漁業ノ種類及名稱 出網類漁業 網代網

漁場ノ位署 基点 東牟婁郡大島村大字櫻野ウキツ谷川口ヨリ沖出八十五度二百九十間兩端九

十五度二百四十間及七十八度二百十間

漁獲物ノ種類 目近、ムロ、鮎、鯉、鱈

漁業時期 五月一日ヨリ十二月三十日迄

免許期間 十ケ年

條件

一 敷設ノ爲両爪ノ錨ヲ使用スヘカラス又砂礫以外ノ土俵、錨石クハ支柱ヲ用フルトキハ揚網後三十日以内ニ之ヲ撤去スヘシ

○和歌山縣告示第四百七號

左記ノ通り定置漁業ヲ免許シ免許漁業原簿ニ登録ス

明治四十三年十一月二日

和歌山縣知事 川上 親晴

伊都郡見好村大字三谷

代表者 中村 常吉

免許年月日 明治四十三年十月三十一日

免許番號 八九六號

漁業ノ種類及名稱 鮎築類 鮎鞘掛

漁場ノ位置 紀ノ川筋 基点伊都郡見好村大字三谷字北島千六百五十六番田ノ東北角堤防下悪

水放流口ヨリ三百五十度四十八間ノ点、三百二十度五十三間ノ点、三百四十九度九十六間ノ点、

三百三十六度百一間ノ点ヲ連結セル線内

漁獲物ノ種類 鮎

漁業時期 九月一日ヨリ十一月三十日迄

免許期間 五ヶ年

條件

一 木石類ヲ以テ支柱トナスヘカラス

一 舟筏ノ通航上障害トナラサル様設備スヘシ

一 全一漁場ニ於テ同時ニ二個以上ノ漁具ヲ敷設スヘカラス

一 漁期終了シタルトキハ一週間以内ニ建設物ヲ撤去スヘシ

伊都郡笠田村大字高田

代表者 木岡半次郎

免許年月日 明治四十三年十月三十一日

免許番號 八九七

漁業ノ種類及名稱 鮎築類 鮎鞘掛

漁場ノ位置

紀ノ川筋

基点伊都郡見好村大字西遊田字川端ノトキ岩ヨリ三百五度五十五間ノ

点、三百二十三度百間ノ点、三百二十三度百二間半ノ点及三百三十三度五十一間半ノ点ヲ連結セ

ル線内

漁獲物ノ種類 鮎

漁業時期 九月一日ヨリ十一月二十日迄

免許期間 五箇年

條件 免許第八九六號ニ全シ

○和歌山縣告示第四百八號

宮城縣ニ於テ巡查退隱料及遺族扶助料並ニ給助年金現金請求書式別紙之進改止ノ旨同縣ヨリ通知アリタリ

明治四十三年十一月三日

和歌山縣知事

川上 親晴

別紙

告示第五百五十號

明治三十五年二月四日本縣告示第二十號巡查看守退隱料及遺族扶助料法ニ依リ退隱料又ハ遺族扶助料ヲ受クヘキモノノ請求書式中現金請求書式並ニ明治十五年七月太政官達第四十一號巡查看守給助例ニ依リ年金ヲ受クヘキモノノ現金請求書式左ノ通り改ム

明治四十三年十月二十四日

宮城縣知事 寺田 祐之

左記

(現金請求書式)

請求書

給助年金  
(退隱料) 第何號 年額何拾圓  
扶助料 一金何圓

但明治何年何月ヨリ何月マテ何ヶ月分

給助年金  
(退隱料)  
扶助料

死亡又ハ權利消滅若クハ停止ノトキハ其事由年月日ノ記入ヲ要ス  
右請求候也

何府縣何郡何市何町何村何番地官職名

當時何府縣何郡何市何町何村何番地寄留

元宮城縣巡查  
扶助料ハ故宮城縣巡查何某寡婦  
又ハ何々死亡ハ助年金ハ故宮城  
縣巡查何某孤兒又ハ何々

年月

何 某印

宮城縣知事何某殿

右ハ明治三十四年七月法律第三十八號巡查看守退隱料及遺族扶助料法第十一條及第十四條(扶助料ハ第十二條及第十五條)ニ抵觸セサルコトヲ証明ス

年月日

(原籍地)

市區町村長

何

某印

「從來添付シタル給助年金証書寫ハ添付ヲ要セス」

○和歌山縣告示第百一號

兵庫縣朝來郡竹田村ノ内殿井村ニ於テ本月十八日和程牝牛一頭氣腫疽ニ罹リ同 十一日斃死セシ旨通知アリタリ

明治四十三年十一月三日

和歌山縣知事 川上親晴

○ 辭 令

○明治四十三年十月二十四日

東牟婁郡新宮町立高等女學校教授囑託ヲ解ク

矢頭常雄

休職ヲ命ス

土木工手

山口孫太郎

○明治四十三年十月三十一日

和歌山縣立新宮中學校教諭ニ任ス

大分縣立竹田中學校教諭

水野浩一

五級俸ヲ給ス

五級俸ヲ給ス

新宮中學校教諭

葛卷行孝

和歌山縣立新宮中學校教諭心得ヲ命ス

竹内健吉

月俸參拾八圓ヲ給ス

任和歌山縣海草郡技手

岡本梅吉

給月俸壹圓

○明治四十三年十一月一日

和歌山縣土木技手ヲ命ス

前川 彰

月俸拾貳圓ヲ給ス

○彙報

○轉任 新宮中學校教諭矢頭常雄ハ去月二十七日兵庫縣立洲才中學校教諭ニ轉任セリ

○善行者表彰 公衆ノ利益ヲ興シ及孝貞ノ道ヲ盡シテ其志行卓絶ナル者又ハ自己ノ危難ヲ顧ミスシテ人命ヲ救助セシ廉ニ由リ藍綬褒章ヲ賜リ又ハ木杯金員ヲ賞賜セラレタル者左ノ如シ

日本帝國褒章之記

和歌山縣有田郡保田村

上山英一郎

資性温厚夙ニ心ヲ公益ニ注キ木臘製造業ノ振ハサルヲ慨シ製臘器具ヲ案出シ晒白法ヲ發見シ晒蓋ヲ改良シテ之ヲ衆ニ示シ良種ノ植ヲ擇ンテ之ヲ栽培シ木臘組合ヲ組織シ舉ケラレテ組長ト爲リ銳意斯業ノ發達ヲ圖リ又柑橘ノ栽培ヲ獎勵シ阪路ヲ海外ニ擴張シ柑橘輸出組合ヲ結ビ特約店ヲ海外ニ置キ大ニ經營スル所アリ或ハ除虫菊ヲ移栽シ製粉ヲ創メ廣ク種子ヲ分與シ費用ヲ補助シ以テ之ヲ獎勵シ産額年ニ増加シ今ヤ盛ニニ海外輸出ヲ爲スニ至ラシム洵ニ公衆ノ利益ヲ興シ成績著明ナリトス依テ明治十四年十二月七日勅定ノ藍綬褒章ヲ賜ヒ其善行ヲ表彰セラレ

明治四十三年十月十八日

和歌山縣那賀郡上岩出村

福井 吉左衛門

資性篤實多年諸種ノ公職ニ從ヒ聲望アリ嘗テ小田井水利土功會改革ノ議アルヤ選ハレテ總理委



員トナリ拮据精勵植弊ヲ矯メ冗費ヲ節シテ衆望ヲ滿タシ又私財ヲ投シテ溜池ヲ築キ以テ旱害ヲ防キ敷地ヲ寄附シ學校ヲ建築シテ教育ノ普及ヲ圖リ其他養蠶ノ利ヲ説キテ之ヲ獎勵シ或ハ農事ノ振作ニ盡瘁スル等常ニ心ヲ公益ニ注キ成績顯著ニシテ鄉黨其ノ德ヲ景慕セサルハナシ洵ニ奇特トス仍テ爲其賞木杯壹組下賜候事

和歌山縣海草郡西和佐村

栗栖德太郎

亡祖父調平夙ニ農家ニ於ケル粃穀ノ利用ノ途乏シク多ク之ヲ廢棄シツ、アルヲ惜ミ苦心考究ノ結果遂ニ粃穀ヲ以テ一種ノ粉炭ヲ製シ得ルコトヲ案出シ其ノ製法ヲ公ニシケレハ世人之ヲ呼ソテ調平炭ト稱シ今ヤ汎ク其ノ製造使用盛ゾニ行ハレ農家經濟上裨益ヲ與スルコト尠カラス洵ニ奇特トス仍テ爲其賞木杯一組下賜候事

和歌山縣海草郡西和佐村

安井拾吉

資性質直農事ニ志篤ク亡祖父粟樞調平ノ粃穀ヲ以テ粉炭ヲ製造スルノ方法ヲ案出スルヤ人皆之ヲ利トスルモ其ノ製法ノ普及セサルヲ憾ミ終ニ私費ヲ投シ各地ニ出張シテ製法ヲ傳授セリ而シテ未ダ之カ報酬ヲ求メタルコトナシ今ヤ其ノ製造遠邇ニ傳播シ農家經濟上裨益ヲ與フルコト鮮カラス一意公衆ノ利益ヲ圖リ以テ私利ヲ營マサルハ洵ニ奇特トス仍テ爲其賞木杯壹組下賜候事

和歌山縣日高郡松原村

吉田ナヲ

資性温順能ク婦道ヲ守ル明治二十七年吉田家ニ嫁シ幾モナク姑とみゑ宿病進ミ起臥不随トナリ

更ニ兩眼明ヲ失シテ益々身體ノ自由ナクニ至リケレハ日夜懇篤看護ニ從ヒ後舅忠兵衛亦病ニ罹リ藥餌手當モ其効ナク不幸遂ニ歿スルニ及ヒ生計頗ル困難トナリシモ夫ヲ助ケテ克ク家政ヲ整ヘ只管姑ノ病床ニ侍シテ孝養怠ラス其ノ十有六年間志操ヲ變セサルハ洵ニ奇特トス仍テ爲其賞金五圓下賜候事

和歌山縣西牟婁郡佐本村

關 本利 一

天性溫順孝養ノ志厚ク明治三十四年居村役場ノ使丁トナリ精勤忘ラス明治四十年父母共ニ病ニ罹リ家計困苦ニ迫ルヤ益々業務ヲ勵ミテ一家ヲ經理シ父母及祖父ニ事ヘテ懇切ニ亦克ク弟ヲ愛撫ス孝養多年其ノ志操ノ健實ナル洵ニ奇特トス仍テ爲其賞金參圓下賜候事

和歌山縣西牟婁郡江住村

長 井 豐 太 郎

明治四十三年八月十三日東牟婁郡大島村沿海ニ於テ西牟婁郡瀬戸鉛山村南榮吉外三名ノ乗船遭難ノ際激浪怒濤ヲ冒シ高野友吉外十名ト協力救助中挺身海中ニ飛入り百方力ヲ盡シ遂ニ克ク乘組船員ヲ救助候段奇特ニ付爲其賞金參圓下賜候事

和歌山縣日高郡眞妻村

阪 本 ウ メ

資性貞實夫及姑ニ事ヘテ克ク其ノ道ヲ盡ス夫ハ業務ノ爲他ニ住シ常ニ家ニ在ラス姑曾テ病ニ罹リ遂ニ身體不随トナリケレバ篤ク看護ニ從ヒテ寤モ其意ニ違ハス家貧ニシテ儉石ノ儲ナク日夜布祿トナシテ生計ヲ營ム斯ノ如キ辛苦ニ處ニ尙教育ノ忽ニスヘカテサルヲ思ヒ子女ヲシテ學ニ

就カシムル等婚嫁以來八年其ノ志操ヲ渝ヘサルハ洵ニ奇特トス仍テ爲其賞金參圖下賜候事

○觀象

自十月廿八日至十月卅一日氣象

(和歌山測候所觀測)

種日	十月廿八日		十月廿九日		十月三十日		十月三十一日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七六二耗九	七六五耗三	七五九耗九	七六四耗五	七六五耗八	七六六耗三	七六九耗六	七六八耗〇
平均氣溫	一三度七	一四度五	一三度三	一六度五	一二度二	一五度四	一一度九	一四度八
最高氣溫	一六度三	一八度六	一八度九	二三度一	一七度四	二二度六	一八度五	二二度一
最低氣溫	一〇度四	一〇度四	九度九	一二度八	六度七	一〇度六	五度九	八度九
最多風向	北々東	北東	西北西	北	北西	北	北西	北
平均風力	二米九	一米五	三米四	二米四	三米三	三米五	三米一	三米三
天氣	曇	曇	少雨	半晴	晴	曇	晴後曇	晴
降水量			一耗〇	〇耗二				
記事現象	夜間月環ヲ映		晚間月環ヲ映 夕終日時々細 雨ス	早朝微雨			晚間月環ヲ映	

明治四十三年十一月二日印刷  
明治四十三年十一月三日發行

和歌山縣知事官房

和歌山市北休賀町六番地 宗  
和歌山市北休賀町六番地 宗  
和歌山市北休賀町六番地 宗  
和歌山市北休賀町六番地 宗